

- 「JGN2+AKARIシンポジウム2008」の開催について

- 平成20年1月11日

独立行政法人情報通信研究機構(以下、「NICT」という。理事長: 宮原 秀夫。)は、今後のネットワークに関する研究開発の新戦略の観点から、ネットワーク研究を支えるテストベッド「JGN2」\*1及び将来のネットワーク分野である新世代ネットワークの研究活動「AKARI」\*2について、国内外の情報通信分野の研究者等にご参加いただき、意見交換・情報共有の場を設けることを目的として、「JGN2+AKARIシンポジウム2008」を開催します。

本シンポジウムでは、講演やパネルディスカッションなどを通じて「JGN2」の4年間の活動成果を研究・経済など多面的な観点からレビューするとともに、来年度から始まる「JGN2plus」\*3への期待などを議論し、また、NICTの今後のネットワーク研究の中核となる「AKARI」に関連して、各国政府の政策・研究活動動向及び今後の新世代ネットワークの研究の方向性・国際連携などについて意見交換も行います。

多くの皆様方のご来場をお待ちしています。

## 記

- 日時 平成20年1月17日(木)10:00 - 18:10  
18日(金)10:00 - 18:05
- 場所 (1)メインセッション会場及びレセプション会場  
秋葉原ダイビル2階 コンベンションホール  
(2)パラレルセッション会場  
会場1: 秋葉原ダイビル5階 カンファレンスフロア  
会場2: 秋葉原UDX6階 UDXカンファレンス  
(3)JGN2研究成果・デモ展示会場  
秋葉原UDX2階 アキバ・スクウェア
- 主催 独立行政法人情報通信研究機構
- 後援 総務省、新世代ネットワーク推進フォーラム、NHK、社団法人情報通信技術委員会、  
情報通信ネットワーク産業協会、社団法人テレコムサービス協会、社団法人日本経済団体連  
合会、  
社団法人日本民間放送連盟
- 内容: シンポジウムの開催趣旨及びプログラムを別紙2、3に示します。
- 参加費 無料(尚、1月17日(木)18:30からのレセプションは有料です。)
- 参加申込 本シンポジウムは、事前登録制となっております。参加をご希望の方は、  
ホームページ( <http://comm.stage.ac/nict/sympo2008/> )からのお申込みをお願いいたしま  
す。  
(申込期限: 平成20年1月16日(水))

申込に関する 問い合わせ先: JGN2+AKARIシンポジウム2008事務局

Tel: 03-5966-5784



< 広報 問い合わせ先 >

総合企画部 広報室

栗原 則幸

Tel: 042-327-6923

Fax: 042-327-7587

< 本シンポジウムに関する 問い合わせ先 >

連携研究部門 テストベッド推進グループ

田中 健二、高西 功

Tel: 042-327-6005

Fax: 042-327-5560

別紙1

## <用語解説>

### \*1 JGN2(ジェージーエヌツー):

超高速・高機能研究開発テストベッドネットワークのこと。NICTが平成16年4月より運用を開始し、全都道府県ならびに米国、タイ、シンガポールにアクセスポイントを持つ。次世代高度ネットワークを国内外の産・学・官・地域連携によって早期実現させ、我が国の経済社会の活性化と国際競争力の向上を目的としている。

URL : <http://www.jgn.nict.go.jp/>

### \*2 AKARI(アカリ):

NICTにおける「新世代ネットワーク」に関する研究活動。2015年(平成27年)に新世代ネットワークを実現することを目指し、そのためのネットワークアーキテクチャを確立し、それに基づいたネットワーク設計図を作成する(未来のネットワークをデザインする)ことを目的としている。

URL : <http://akari-project.nict.go.jp/>

### \*3 JGN2plus(ジェージーエヌツープラス):

JGN2の構成や運用を一部見直して、NICTが運用する超高速・高機能研究開発テストベッドネットワーク。(平成20年4月～平成23年3月(予定))

\*「研究開発テストベッドネットワーク(JGN2)の概要」、「JGN2ネットワーク構成図」及び「AKARIアーキテクチャ」については、別紙4～6をご参照ください。

# JGN2+AKARI シンポジウム2008

in 秋葉原

2008.1.17 (THU) / 18 (FRI)

独立行政法人情報通信研究機構（NICT）では、今後のネットワークに関する研究開発の新戦略の観点から、ネットワーク研究を支えるテストベッド「JGN2」及び将来のネットワーク分野である新世代ネットワークの研究活動「AKARI」について、国内外の情報通信分野の研究者等にご参加いただき、意見交換・情報共有の場を設けることを目的として、「JGN2+AKARIシンポジウム2008」を開催いたします。

本シンポジウムでは、講演やパネルディスカッションなどを通じて「JGN2」の4年間の活動成果を研究・経済など多面的な観点からレビューするとともに、来年度から始まる「JGN2plus」への期待などを議論し、また、NICTの今後のネットワーク研究の中核となる「AKARI」について、各国政府の政策・研究活動動向、および今後の新世代ネットワークの研究の方向性などを含む意見交換を行うこととしております。

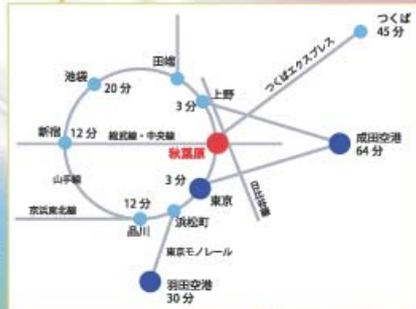
皆様のご参加を心よりお待ちしております。

### 【会場案内】秋葉原ダイビル・秋葉原UDX



### 【交通アクセス】

- JR線・京浜東北線「秋葉原駅」徒歩1分
- 日比谷線「秋葉原駅」徒歩4分
- 銀座線「末広町駅」徒歩5分
- つくばエクスプレス「秋葉原駅」徒歩3分
- 羽田空港から
- 電車：所要時間約30分
- 一羽田空港駅より東京モノレール、浜松町駅でJR京浜東北線または山手線に乗り換え、秋葉原駅下車、徒歩1分
- 成田空港から
- 電車：所要時間約70分
- 一成田空港駅より成田エクスプレス、上野駅でJR京浜東北線または山手線に乗り換え、秋葉原駅下車、徒歩1分



主催：独立行政法人情報通信研究機構  
 後援：総務省／新世代ネットワーク推進フォーラム／NHK  
 社団法人情報通信技術委員会／情報通信ネットワーク産業協会  
 社団法人テレコムサービス協会／社団法人日本経済団体連合会  
 社団法人日本民間放送連盟



# JGN2+AKARI シンポジウム2008

in 秋葉原

## 17 (THU) 10:00~18:10

【ダイビル2F コンベンションホール】

- 10:00~10:20 開会挨拶
- 10:20~11:05 基調講演  
新世代ネットワーク構築への道  
宮原 秀夫 (NICT 理事長)
- 11:05~11:50 特別講演  
ネットワークチャレンジにおけるテストベッドの意義と成果  
花澤 隆 (日本電信電話株式会社 取締役 研究企画部門長)
- 11:50~12:30 JGN2アワード表彰式
- 12:30~13:30 昼休憩
- 13:30~15:00 スペシャルセッション  
JGN2の総括  
チェア/青山 友紀 (次世代高度ネットワーク推進会議 幹事会代表幹事/慶應義塾大学 教授)
- 相原 玲二 (次世代高度ネットワーク推進会議 利用促進部会長/広島大学 教授)
- 池田 佳和 (次世代高度ネットワーク推進会議 国際共同研究推進部会長/国立情報学研究所 客員教授)
- 尾家 祐二 (次世代高度ネットワーク推進会議 研究推進部会長/JGN2プロジェクト総括責任者/九州工業大学 教授)
- 秋葉 重幸 (株式会社KDDI研究所 代表取締役所長)
- 江崎 清 (JGN2プロジェクト副総括責任者/東京大学 教授)
- 広岡 淳二 (財団法人九州産業学術推進機構 産学連携センター産学連携課長)

パラレルセッション

【ダイビル5F】

JGN2セッション

- 15:20~16:10  
JGN2研究発表(1)
- 16:20~17:10  
JGN2研究発表(2)

【UDX2F】

- 17:10~18:10  
JGN2デモ見学

【ダイビル2F コンベンションホール】

- 18:30~20:00 レセプション (18:00 開場)  
(有料)

【UDX6F】

第2回新世代ネットワークワークショップ

- 15:20~16:40  
AKARIアーキテクチャ(1)

●16:50~18:10

AKARIアーキテクチャ(2)

## 18 (FRI) 10:00~18:05

パラレルセッション

【UDX2F】

- 10:00~12:00  
JGN2デモ見学

【UDX6F】

- 10:00~12:00

新世代ネットワーク国際シンポジウム (同時通訳あり)  
研究発表

中尾 彰宏 (NICT 客員研究員/東京大学 准教授)

Chip Elliott (BBN GENI プロジェクト担当部長  
Project Director, GENI Project Office, BBN)Fiona Williams (e-モビリティ技術プラットフォーム議長/  
Ericsson 研究部長)  
Chairperson, eMobility Technology Platform, eMobility  
and Research Director, Ericsson

- 12:00~13:00 昼休憩

【ダイビル2F コンベンションホール】

- 13:00~14:30 パネルディスカッション1

諸外国のネットワーク研究戦略 (同時通訳あり)

チェア/青山 友紀 (NICT プログラムディレクター/慶應義塾大学 教授)

稲田 修一 (NICT 理事)

Rainer Zimmermann (EG 未来ネットワークユニット長  
Head of Unit for Future Networks, European Commission)Taleb Znati (NSF コンピュータ・ネットワークシステム部門長  
Division Director, Computer and Network Systems, CIS, NSF)

- 14:40~16:10 パネルディスカッション2

諸外国の新世代ネットワーク研究の動向 (同時通訳あり)

チェア/村田 正幸 (NICT 新世代ネットワーク研究開発戦略本部 副本部長/  
大阪大学 教授)

加納 敏行 (日本電気株式会社 システムプラットフォーム研究所 所長)

平原 正樹 (NICT 新世代ネットワーク研究センター  
ネットワークアーキテクチャグループ グループリーダー)Chip Elliott (BBN GENI プロジェクト担当部長  
Project Director, GENI Project Office, BBN)Fiona Williams (e-モビリティ技術プラットフォーム議長/  
Ericsson 研究部長)  
Chairperson, eMobility Technology Platform, eMobility  
and Research Director, EricssonYanghee Choi (ソウル国立大学 教授)  
Professor, Seoul National UniversityYaohui Jin (上海交通大學 教授)  
Professor, Shanghai Jiao Tong University

- 16:20~18:00 パネルディスカッション3

我が国のICTの今後と将来のネットワークの展望

チェア/齊藤 忠夫 (新世代ネットワーク推進フォーラム会長/東京大学 名誉教授)

後藤 滋樹 (早稲田大学 教授)

坂内 正夫 (国立情報学研究所 所長)

下條 真司 (JGN2プロジェクト副総括責任者/大阪大学 教授)

竹村 哲夫 (株式会社日立製作所 理事 情報・通信グループ ネットワーク事業統括)

村井 純 (慶應義塾常任理事兼慶應義塾大学教授)

- 18:00~18:05 閉会挨拶

※当日のスケジュール、出演者等は予告なく変更することがございます。あらかじめご了承ください。※50音順、アルファベット順、敬称略

### 参加費無料 (レセプションのみ有料)

詳細及びお申込みはホームページから  
<http://comm.stage.ac/nict/sympo2008/>

プログラムに関する問い合わせ

独立行政法人情報通信研究機構 連携研究部門テストベッド推進グループ  
TEL:042-327-6005 FAX:042-327-5560 E-mail: sympo2008@ml.nict.go.jp

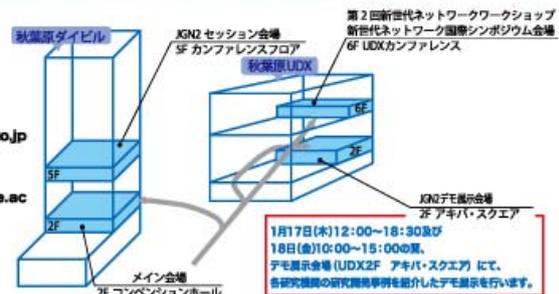
お申込みに関する問い合わせ

JGN2+AKARIシンポジウム事務局  
TEL:03-5966-5784 FAX:03-5966-5773 E-mail: ja2008@comm.stage.ac

JGN2についての詳細はこちら

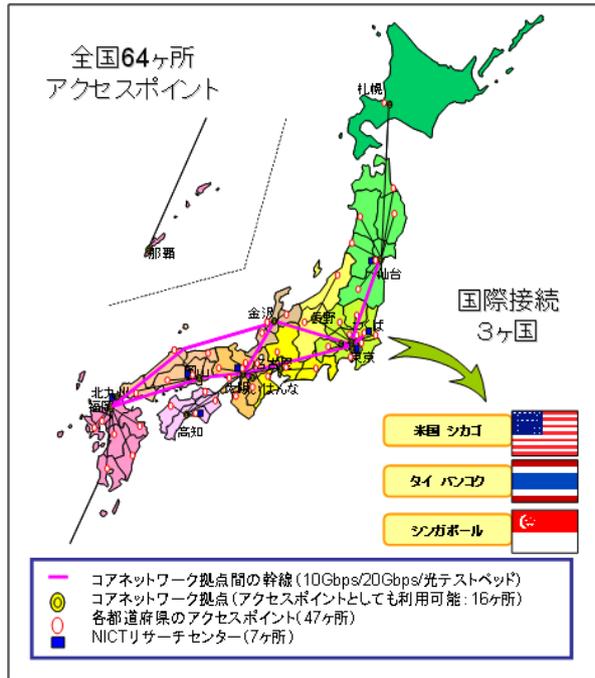
<http://www.jgn.nict.go.jp/>

AKARIについての詳細はこちら

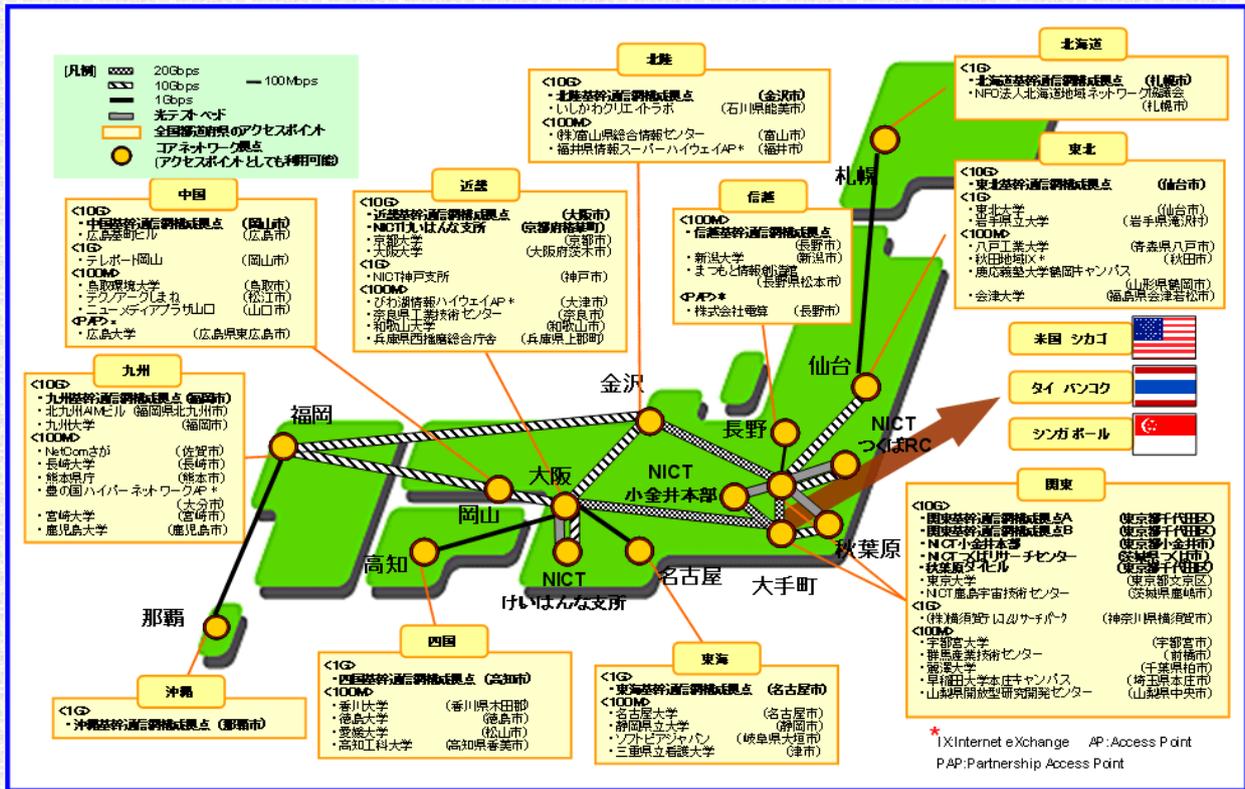
<http://akari-project.nict.go.jp/>

### 研究開発テストベッドネットワーク(JGN2)の概要

- 目的
  - ・ 情報通信技術(ICT)の研究開発 基礎的・基盤的な研究開発から実用化に向けた実証実験まで幅広い研究活動を推進
  - ・ 産・学・官・地域の連携
  - ・ 実践的な研究活動を通じたICT分野の人材育成
  - ・ 地域における研究活動等を通じた地域活性化
- 概要
  - ・ 超高速・高機能研究開発テストベッドネットワーク
    - ・ 最大 20Gbpsの超高速ネットワーク
    - ・ 各都道府県にアクセスポイントを設置(全国64ヶ所)
    - ・ 米国、シンガポール、タイへ国際回線を整備
  - ・ 多様な実験が可能な光テストベッド環境を整備
  - ・ 最先端の光交換機(OXC)を導入し、高速交換等を実践
- 利用方法
  - ・ 研究開発・実証実験目的であれば誰でも利用可能なオープン環境
  - ・ 「共同研究契約」に基づき「研究計画書」を提出
- 運営方法
  - ・ NICTによる運営
- 研究開発推進体制
  - ・ 全国7箇所のリサーチセンター
- 運営時期
  - ・ 平成16年4月～平成20年3月



### JGN2ネットワーク構成図



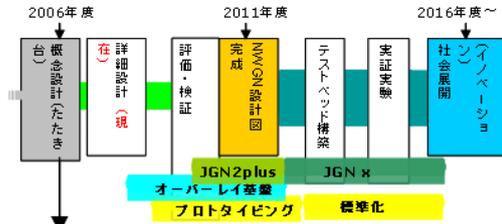
AKARIアーキテクチャについて

AKARI アーキテクチャ

- a small light in the dark pointing to the future -

1. 発足の経緯

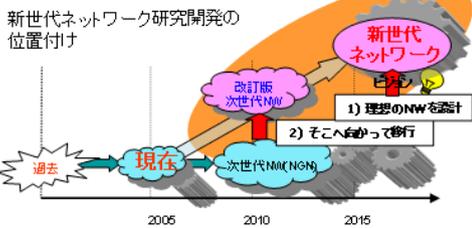
現在のネットワーク技術の延長では実現できない将来の要求に対して白紙から理想のネットワークを追求するため2006年4月に検討を開始。現在は詳細設計仕様を検討中。



2006年度末 AKARI概念設計書をリリース

2. 目的

AKARIプロジェクトは、2015年に新世代ネットワークを実現することを目指し、そのためのネットワークアーキテクチャを確立し、それに基づいた新世代ネットワーク設計図を作成することを目的とする。新しいネットワークアーキテクチャを研究するにあたり、現在のしがらみに捕われずに、白紙から理想を追求。その後で現在からの移行を考えるアプローチをとる。



3. 新世代ネットワークアーキテクチャの原理原則

3つの基本原理・原則に沿った設計を行い、社会インフラとしてのネットワーク全体のグランドデザインを行う。



4. 今後の予定

今後JGN2plusを利用したテストベッドへの試験的実装やプロトタイプの実成、JGNxへの展開等により実現性の検証を行い2015年以降の実用化開始と持続可能なネットワークアーキテクチャの実現を目指す。